

No. 1670

上海博物館展

東京上野の東京国立博物館で「上海博物館展」が8月22日まで開かれています。
会場には海外初公開の宋・元時代の絵画、書跡をはじめ、青銅器、陶磁器など名品126点が展示されています。
北宋・王詵の山水画、蘇東坡の楷書、呉琚の行書、清時代景德鎮窯で作られた青磁雲竜文壺、紀元前11～8世紀頃の大克鼎など見る者を圧倒する素晴らしさです。
この展覧会は9月4日より名古屋でも開催されます。

新党躍進 自民体制に幕

—— 衆院総選挙 ——

衆議院総選挙のさなかの7月7日から3日間、東京赤坂の迎賓館で第19回主要先進国首脳会議（東京サミット）が開かれました。

政治宣言では民主主義の擁護、経済宣言では世界的不況脱出、ロシア支援の具体化などを確認、採択しました。
後半にはエリツィンロシア大統領も参加しての首脳会議でしたが議長役の官沢総理にとっては国内の総選挙が気になる様子。
7月18日即日開票の結果、新党ブームに乗った日本新党がゼロからの35議席を確保。細川代表は「党の基本精神が理解され追い風になった」と満足そう。

選挙前の134議席から70議席と惨敗した社会党山花委員長は「批判を厳しく受けとめたい。しかし自民党に代わる政権づくりの方針は進める」と表明。

自民党を飛び出し選挙に臨んだ新生党は目標50人を上回る55議席を獲得、狭い事務所では入り切れずホテルで記者会見をする羽田党首「新政権をつくる目的のために頑張る」と自信をのぞかせました。

過半数256議席に届かず223議席と現状維持の自民党は党内分裂、過半数割れなど責任問題が生じ官沢首相は議員総会で「多くの同志を失なった責任は総裁の私にある、熟慮の結果総裁を辞任します」と退陣を正式表明。

自社主導の55年体制がくずれ「政治改革政権」をめぐる自民党一党支配に代わり7党による非自民連立政権が誕生する気配です。